

元気企業  
訪問

株式会社  
グラノラ  
ジャーニー

## 豊富なバリエーションで 売れ行き好調 関西初のグラノラ専門店 日本から世界を目指す

### 20種類を超える品ぞろえ

神戸市東灘区の住宅街にひっそりとたたずむグラノラジャーニーの店舗。店内には20種類を超えるグラノラが並び、ほんのり甘い麦の香りが漂っています。カウンターの奥では、女性のスタッフが焼き上げたグラノラをオープンから取り出していました。「お客さまの目が届く所で作ることで安心感につながれば」と代表取締役社長の西村啓太郎さんは話します。

グラノラはシリアル食品の一種で、オート麦に雑穀類を合わせ、そこに蜂蜜やメープルシロップを混ぜて甘みを付け、オープンで焼き上げたもの。幼い頃からグラノラが大好きだったという西村社長。サラリーマン時代には、自分で好みのグラノラを作るほどでした。グラノ

ラの市場を調べてみると、人気にじわじわと火が付き始めており、今後大きく成長すると確信。一方で、消費者にヒアリングすると、「売られている商品は甘すぎる」「いろいろな種類を楽しみたい」と、市販の商品に満足していない人が多いことが分かりました。「それなら自分で作ったものを売ろう」と2013年10月に会社を設立し、店をオープンしました。

### 店は出だしから好調

当時、グラノラ専門店はまだ少なく、スープ専用等、オリジナル性の高い新商品の話題性も手伝って、新聞や雑誌、テレビに取り上げられました。神戸の優れた商品の販売を応援する事業「神戸セレクション」にも認定され、百貨店の催事などに店出する機会も獲得。

出だしから好調なスタートを切ることができました。

特に、豊富な味のバリエーションは他の専門店にはない大きな特長。東京からわざわざ訪れる人もいます。店や催事での販売に加え、インタ

ーネットを使った通信販売も始め、販路を拡大しました。

「当初は20代から30代の女性をターゲットにしていたのですが、50代、60代の方にまで支持されています。大きな発見でしたね」

### 金融機関から心強い応援

順調な売れ行きに手応えを感じた西村社長は東京進出を決意。そのためには新たな資金調達が必要と考え、ひょうご・神戸チャレンジマーケットに参加しました。

チャレンジマーケットで同社ならではの強みと直近の売れ行きをプレゼンテーションしたところ、早速、信用金庫や銀行の担当者から「ぜひサポートしたい」との連絡が入りました。県の融資制度を活用することができたため、当面の設備資金のめどはついていますが、「いずれの金融機関からでもいいので応援すると言っていただいているので心強く、ためらうことなく事業展開をすることができます」と言います。

半年間販売を続けるうちに、朝食用、おやつ用に買い分ける人が多いこと、男性が甘い商品を好むのに対し、女性は甘さ控え目のものを選ぶ傾向にあることなどが分かってきました。現



出来上がったグラノラの袋詰め作業

在、力を入れているのは地域の産品を使った商品開発。酒どころである地元神戸からは「桜酒粕グラノラ」、高知県馬路村の柚子を使った「柚子はち

みつグラノラ」などは定番としてリピーターが付いています。

東京への出店の打ち合わせなど忙しい日々を送る西村社長。「アメリ

カ、ヨーロッパはもちろん、東南アジアでもグラノラは受け入れられています。いずれは海外でも販売してみたい」と話しています。

会社概要  
株式会社グラノラジャーニー

所在地 神戸市東灘区魚崎北町6-5-10  
代表取締役 西村啓太郎  
事業内容 グラノラの製造・販売

TEL 078-451-3277  
URL <http://granolajourney.jp/>

## 支援メニュー講座

ひょうご・神戸チャレンジマーケット

# あなたの会社のビジネスプランを応援します 資金調達や販路開拓のチャンスが広がります

### 制度概要

創業・第二創業、経営革新に取り組む中小企業・ベンチャー企業・個人事業主が、ビジネスプランの発表を通じて、金融機関や一般企業等との幅広いマッチング（資金調達や販路開拓等）を行うチャンスを提供するものです。

応募者の中から選定された企業・個人が、「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」において、ビジネスパートナーを求めて参加する金融機関・ベンチャーキャピタル・一般企業等の前でビジネスプランのプレゼンや個別商談を行います。

### メリット

- 個別ではアポを取るのも困難な有力企業や金融機関等にビジネスプランを聴いてもらうことができ、取引のチャンスが広がります。
- 中小企業基盤整備機構の販路開拓コーディネーターによる販路開拓支援が受けられます。
- プレゼン資料（パワーポイント）作成の個別指導に助成が受けられます。また、プレゼン資料は後の営業ツールとして活用できるため、営業の幅が広がります。
- 各種支援メニューにより、事業化を側面からサポートします。

第21回「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」  
9月18日（木）・19日（金）開催予定

参加を希望する方は、当センターHP（「チャレンジマーケット」で検索）をご覧ください。「参加申込書」をファクスまたはEメールで送付してください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター創業推進部 新事業課 TEL078-230-8110